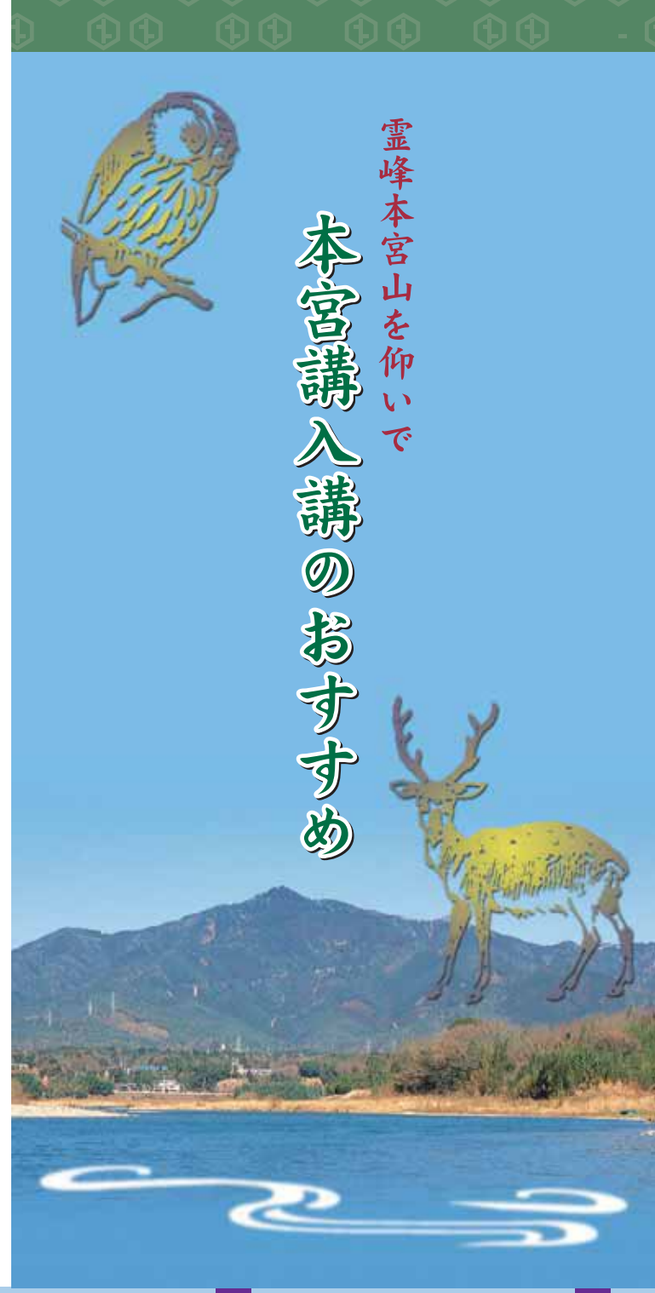
霊峰本宮山を仰いで

本宮講入講のおすすめ



本宮山祇鹿神社奥宮

本宮山祇鹿神社奥宮

本宮山(海抜七八九メートル)は、千年近い大木の杉桧が林立した神山で、愛知県天然記念物に指定されています。

頂上には三河國一之宮祇鹿神社の奥宮が鎮座し、大己貴命(大国さま)をお祀りしています。本宮山に登れば、大神様の御神徳によりストレスの多い現代社会の人々を、自然の心に立ち返らせて下さいます。

頂上までは車で行くことができ、起伏に満ちた山々、又アルプス連峰、富士山の秀峰、太平洋、伊勢志摩、浜名湖の景観が眺められます。

近年は徒歩登山者が年間数万人に及び健康の山として関心が高くなっております。

美しい姿の本宮山は、千古の神山として仰がれる。

本宮山奥宮

粥占祭

一月十五日午前八時

その年の農作物の豊凶や天候風雨を占う農耕神事である。前日宮司以下登山参籠潔斎の後、十五日早暁、神水にて粥を炊きあげ、農産物、海産物の名を印した竹の管二十七本を混ぜて攪拌する。この後各々の竹の管につまった粥の量を卜定する。古くより「オタメシ」、「オクダガイ」と言われ、参列者には粥占符が授与される。

粥占祭

荒羽々気神社

(東海唯一健歩健脚の守護神)

大己貴命の荒魂を祀る。例祭は十月十四日。昔から足の願掛け神として崇敬されている。

本宮山

豊川より本宮山を望む

山頂丸山の桜

御神木

八柱神社

本宮山の主な行事

本宮山の主な祭典行事

一月一日	歳旦祭	
六日	宝印祭	
十五日	粥占祭	
二月六日	例祭	
六月三十日	大祓祭	
七月二十七日	麦祭	
十月吉日	本宮講秋季大祭	
十四日	荒羽々気神社例祭	
十一月十六日	煤拂祭	
三十一日	大祓祭	
毎月一日	月次祭	
十一・二十一日	旬祭	
十五日	本宮講崇敬会月次祭	

守見殿神社

(疫病除けの守護神)

山頂奥宮北の石垣に沿って鎮座する神社である。大己貴命の和魂を祀る。古くは守見殿と称する他に薬師堂とも称したようである。一月六日「宝印祭」が行われる。神社の特殊神事でこの祭に宝印を頂くと夏の疫病にかからないと伝えられ寒中多くの来拝者がある。

宝印祭

一月六日午後二時

奥宮本社下方の末社守見殿神社にて斎行。厄難消除・無病息災が祈願される。祭典後は参拝者に秘伝の宝印が授けられ、宝印符、沓型餅が頒布される。寒中登山者が多い。

宝印祭

霊峰本宮山を仰いで

三河平野に聳え立つ本宮山(標高七八九メートル)は、古代より穂の茂山と称し、千年の古木生い茂る秀麗な神体山として敬仰され、山頂には大己貴命(大国さま)をお祀りする祇鹿神社奥宮が鎮座します。

今から千三百年前に神託により里宮が創建されるや、以後奥宮里宮併せて三河國一之宮、また国幣小社と称され、大神の広大な御神徳は、福徳の神・国土開拓の神として仰がれて、三河はもとより東海各地から信仰を集めてまいりました。

この大神の御神徳に報謝の誠を捧げ奉らんと、特に奥宮への信仰篤い人々によって昭和四年当神社付属本宮講が設立され、今日まで活動を続けています。

神社では講員の家内安全・家運隆昌祈願のため毎月十五日に本宮講月次祭を斎行すると共に、春秋二季の講社大祭を春は里宮で斎行し、秋は奥宮で斎行申し上げております。

御神縁を結ぶ

『しるや如何に　吾名をとはば　千はやぶる　神の始めの　神とこそいはめ』

祇鹿大神詠歌

霊峰本宮山の信仰の歴史は古く、御山全体が神々の鎮まる神奈備山として、また山中に横たわる巨岩や苔生す巨木は神々の宿る磐座・神籬として、古代の人々に崇められ、やがて山頂に社殿が創建されると共に、祇鹿大神の霊験は広く知れ渡り、里人は大神の御神徳を蒙り奉らんと寒暑に耐えて競って登山参拝を行うようになりました。

近年山頂まで道路が開通し、車での参拝が容易となった今日にあっても、徒歩による登山参拝は絶えることがありません。

この霊験あらたかな祇鹿大神様の御神徳の下、大神様との御神縁を深めて戴きたく、本宮講への入構をお勧め致します。

活動

『願掛け成就の御神徳を慕って』

◆本宮講春季大祭　参列　四月第一日曜日　午前十一時
　里宮にて本宮講大祭斎行並び総会開催
◆本宮講秋季大祭　参列　十月下旬日曜日　午前十一時
　※奥宮にて「大祈祷祭」延命麦とろ会開催
　※霊鳥とが梟の霊威を籠めた「福籠守」授与
◆宝印祭　参列　一月六日　午後一時
　奥宮末社守見殿神社で斎行。祭典後は・病み伏せ無病息災を叶える、神社秘伝の宝印が授けられる。
◆奥宮例祭　参列　二月六日　午前十時

本宮山の山懐に抱かれて…
自然の心に立ち返る

◆本宮講秋季大祭登山参拝実施
　本宮山表参道一の鳥居から山頂奥宮まで約四キロメートル
　徒歩にて約二時間
◆奥宮境内設備の整備拡充協賛
◆奥宮境内林の保護育成・記念植樹の実施
◆本宮山登山道整備ボランティア参加
◆本宮山植物観察教室参加
◆本宮山「麦とろ会」参加　十月～四月

祈

家内安全・商売繁昌・厄除け開運・病み伏せ・健康長寿

議員の特典

・議員の家内安全・家運隆昌祈願のため毎月十五日に奥宮・里宮において本宮講月次祭を斎行
・入講された方には講員章発行
・講員章提示の方には、里宮にて毎月十五日午前九時斎行の本宮講月次祭に参列戴けます。
　また奥宮では、一年を通じて昇殿参拝を奉仕致します。

講　費

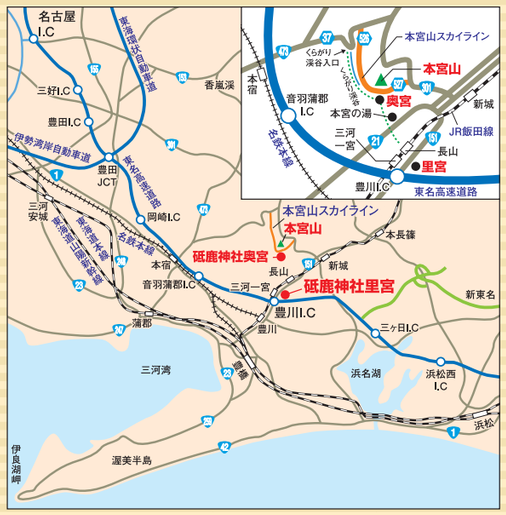
・入講費　二千円
・年講費　三千円(春季大祭時に納金・年間祈祷料)
・祈祷料　五千円以上(秋季大祭特別祈祷初穂料)

入講申し込みの方法

・申込書に必要事項を御記入の上、祇鹿神社社務所へ直接若しくは、郵送及びFAXでお申し込み下さい。
・入講費は申し込み時に現金で納金戴くか、同封の郵便振替え用紙及び銀行振込み用紙を御利用下さい。

祇鹿大神詠歌

しるや如何に
吾名をとはば　千はやぶる
神の始めの
神とこそいはめ



三河國一之宮砥鹿神社 本宮講本部
愛知県豊川市一宮町西垣内2番地
TEL(0533)93−2001(代)　FAX(0533)93−7888
本宮山砥鹿神社奥宮
TEL(0533)93−2057
ホームページ　http://www.togajinja.or.jp